

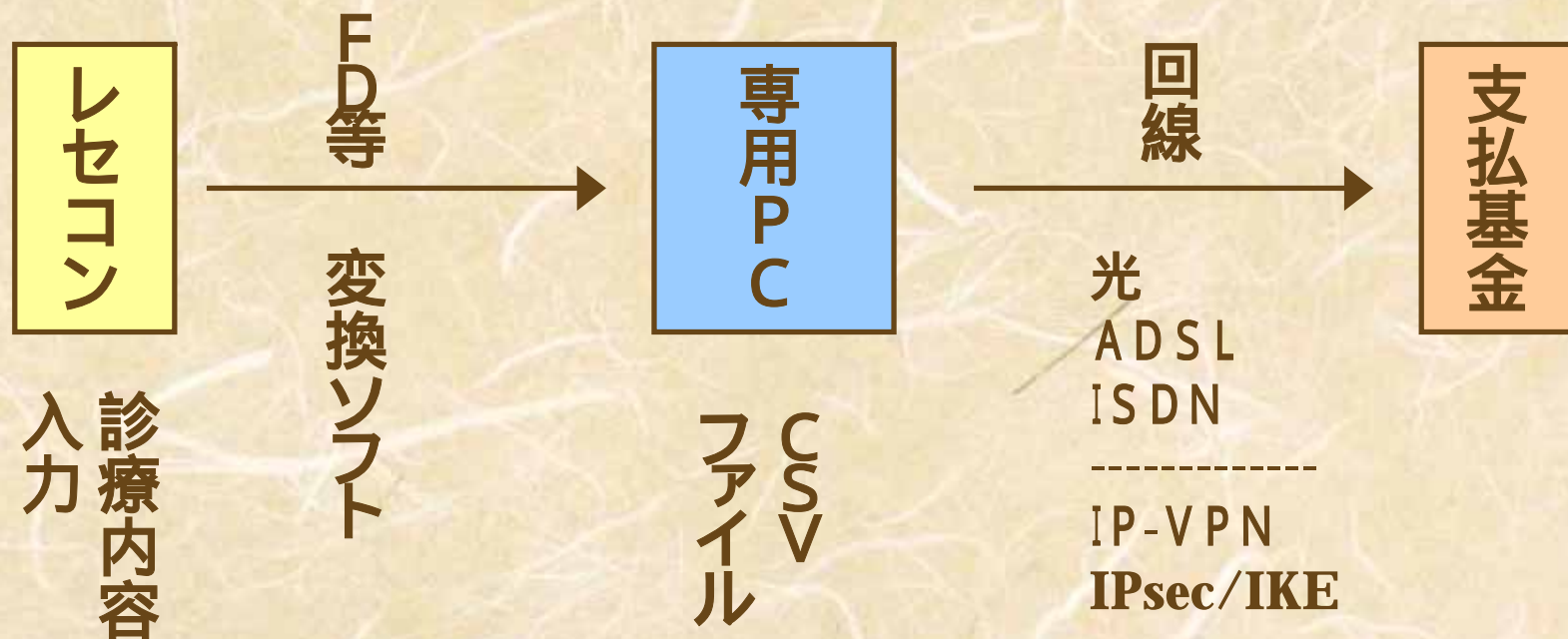
レセプトオンライン化に向けて

2008年11月15日秋田県秋田市
本田整形外科クリニック 本田忠

レセプトオンライン化とは

「レセプト」を「指定」された
「回線」を使って請求する

レセプトオンライン化



なにを準備すれば良いですか

1) レセコン

2) データ変換ソフト

3) 専用pc: レセコンは直接つながない。

4) 回線: NTTのBフレッツを推奨

レセプト電算処理と オンライン請求の普及率

| | レセプト 電算処理 | オンライン 請求 |
|---------------|--------------|-------------|
| 400床以上 | 91.4% | 91.4% |
| 400床未満 診療所 | 35.6% | 9.8% |
| 調剤薬局 | 21.5% | 1.7% |
| | 72.4% | 6.1% |

平成20年9月30日現在：施設数で普及率を計算

選択肢

1) 代行入力(レセコン不要)

: 支払基金(日医案)

2) オンライン請求(レセコン要)

レセコンなしでも可能

代行入力が認められます。

支払基金や医師会

厚生労働省令で、医師会のみ限定。

医師会から審査支払機関への業務委託

一枚あたり金額は未定です。

レセコン導入 vs 未導入

どちらがお得か

- レセコンの価格: 120万
- 代行入力の価格: 70円 / 枚

レセコン導入

オンライン請求と電子カルテ

- レセコンがあれば可能。
- 電子カルテは関係ありません。

CDやFDで請求することは可能ですか？

- オンライン請求 = 「回線」

CDやFDは不可

最終タイムリミット：例外なし

レセコンあり：平成22年4月1日

レセコンなし：平成23年4月1日

レセコンなし+月請求100件以下：

平成23年以降、2年の範囲内で別に定める日

準備のタイムリミット：平成21年夏

- 余裕を見て準備を開始する

1) レセコンなしの場合 : 1年半

2) レセコンありの場合 : 10ヶ月

- 遅くなればなるほどレセコンメーカーの対応は困難。
- 全国一斉に始まるために人員不足となります。

オンライン請求に関する日医見解

- あくまで手上げを主張する。

不調に終わった場合

- 1) 平成21年度の予算概算要求において、代行入力支援(システム構築等)に必要な初期費用の手当て。
- 2) 少数該当要件の緩和; > 年1,200件。
- 3) 代行請求業務の改善
- 4) 国保請求書、医療費助成制度などの書式を統一し電子化する
- 5) オンラインではなくレセプト電算処理、電子媒体を医師会などが代行送信する

保険審査が強化されるのではないか

- 日医見解

保険審査が急に強化されると
いう心配は少ない

レセプトオンライン化に対応した計画の工程表

| | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 |
|--|--|---|--|--|---|
| オンライン義務化に沿った電子レセプト普及率 | 35.8% | 46.9% | 58.0% | 84.9% | 99.3% |
| 1 オンライン基盤の着実な整備 | | <ul style="list-style-type: none"> ● レセ電算歯科システムの稼働 | <ul style="list-style-type: none"> ● 電子レセプトの返戻システムの開発 ● レセ電算システム、オンライン用サーバの増設 ● インターネット回線を利用した接続方法の拡大 | <ul style="list-style-type: none"> ● 完全オンライン化に備えたネットワークの増強 ● 返戻・再審査請求の電子化・オンライン化 | |
| 2 審査の効率化と質の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ● 原審査見落とし率(約20%) | <ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータシステムによる審査支援機能の整備・活用及び職員による審査員に対する支援体制の拡充(約▲6%) ● 算定ルールチェックプログラムの拡充による再審査査定量の減少(約▲4%) | | | <ul style="list-style-type: none"> ● 原審査見落とし率(約10%) ● 定型的レセプトの一括処理(レセプトの約20%) |
| 3 審査支払関連サービスの充実と新たな審査サービスの提供 | | <ul style="list-style-type: none"> ● ASPサービスの算定ロジックの公開 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 医療機関・保険者の資格返戻処理事務の効率化 | <ul style="list-style-type: none"> ● 医科・歯科レセと調剤レセの実合審査 ● 縦覧審査 |
| 4 オンラインネットワークを活用した新たなサービスの展開 | | | <ul style="list-style-type: none"> ● 医療機関間の診療情報の外部交換基盤の提供 ● 医療費通知等保険者代行業務 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 即時資格照会基盤 |
| 5 業務フローの見直しと定員削減等 (審査支払部門) (平成13年度8,300人に対する縮減率) | (約5,300人) (▲16%) | 削減分▲900人(請求支払▲800人 共通管理部門▲100人) | 繰替分400人(審査充実 200人 実合審査等 200人) | (約4,800人) (▲24%) | (約4,800人) (▲24%) |
| | | (▲125人程度) | (▲125人程度) | (▲125人程度) | (▲125人程度) |
| | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ● 保険者への請求の短縮化 |

審査の効率化と質の向上

- 1) 審査ロジック及び審査基準の明確化・標準化
- 2) 全数調査
 - a) 見落とし率の半減
 - b) 医科レセプトと突合した調剤レセプトの審査(突合審査)
 - c) 複数月にわたるレセプトを通覧した縦覧審査
- 3) 明確なルール・チェックについては、すべてシステムで行う。
 - ・重点的に審査するため、特定項目に着目してレセプトを抽出する機能
 - ・過去の審査事例を登載し、これに類似する内容を有するレセプトを抽出する機能
 - ・条件設定に基づき疑義ある内容にマーキングを行い注意喚起する機能

第3回医療評価委員会

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/iryuu/index.html>

医師の裁量権の確保

1) 審査基準の統一化を避ける

a) 裁量権

あいまいさを許容すること。厳しくも甘くも出来る

b) 裁量がない = 厳しい見解に統一

各県によって異なる見解は概ね一番厳しいものに統一される

2) 全数調査

a) 縦覧

b) 他データとの突合

3) ノルマはより厳しく設定される

レセプトデータの二次利用

- NHIN

- 1) 症例データベースを診療や研究に活用
- 2) 患者が自らの疾病について自ら判断できる材料として、公開していく
- 3) レセプトデータのアウトカム評価での活用
- 4) 特定健診におけるデータ企業健診や学校健診のデータとの連携

第3回医療評価委員会

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/iryuu/index.html>

管理医療：日本版マネジドケア

国家医療情報ネットワーク「NHIN」

：平成23年度完成

- 1) 社会保障カード
- 2) レセプトオンライン化
- 3) 特定健診保険指導：疾病管理プログラム
- 4) 総合医・専門医制度の確立

個人と医療機関を予防から疾病まで
トータルに管理する。

手書きの医療機関

- 1万2,800の医療機関
(平成20年5月診療分)

・義務化は職業選択の自由、財産権の侵害
正当な補償が必要。

・職業選択の自由(日本国憲法第22条1項)

・何人も、公共の福祉に反しない限り、居住、移転及び職業選択の自由を有する。

・財産権の保障(日本国憲法第29条)

1) 財産権は、これを侵してはならない。

2) 財産権の内容は、公共の福祉に適合するように、法律でこれを定める。

3) 私有財産は、正当な補償の下に、これを公共のために用いることができる。

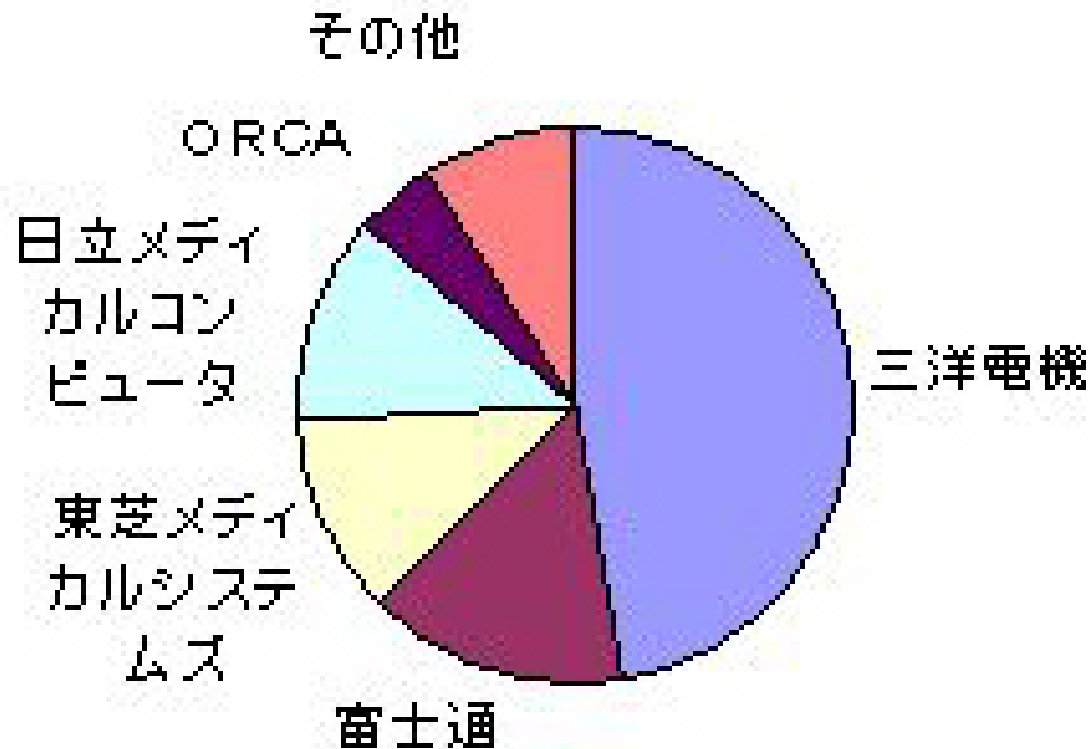
導入ステップ

- 1) レセコン導入
- 2) 院内ガイドライン作成
- 3) フロッピーの郵送で請求
- 4) 専用PCの導入
- 5) 接続回線(専用、インターネット)
- 6) 電子署名取得
- 7) 実行

レセコン

- 1) 日レセORCA (推奨)
対応費用(無料)+認証費用(4000円)
- 2) レセコン各メーカー
対応費用(有料)+認証費用(4000円)

診療所向けレセコン、ベンダーシェア



レセコンのベンダーシェアは上位4社で86%

2008年3月現在

(株)シード・プランニング

導入コスト

レセプト電算用オプションソフト費用：約25万

初期費用：約142,000円

オンライン請求用パソコン約100,000円

電子媒体読込用ドライブ約10,000円

電子証明書発行料・更新料約4,000円 有効期間3年

ネットワーク回線接続初期費用約28,000円

Bフレッツ(ハイパーファミリータイプ)の場合

維持費：約6,000円/月

ネットワーク回線費用約6,000円

病名のICD10対応

必要なし

専用PC(未使用)

レセコンはネットとは物理的につながない。
ガイドラインではORCAは直接接続可能。

1) OS

Windows: WindowsXP sp2, Windows 2000 sp4以降

Linux: Debian GNU/Linux, Turbolinux 10

Desktop

2) ウイルス駆除ソフト推奨(必須ではない)

3) ノートPCが望ましい

データはフロッピーに残す。PC内部には残さない(盗難対策)

データ量は小さいので古いPCで十分(virus駆除済)

回線の選択

セキュリティのために回線は限定

送信データサイズ

数百キロバイトのCSVファイル。

非常に小さい。

レセプトデータ送信

- 光：数秒
- ADSL：25秒
- ISDN：7分程度

光vsADSLvsISDN

「通常」のインターネットをどれで行うか

Bフレッツ(NTT)によるIP-VPN推奨

与えられた選択枝のなかで一番早いのが望ましい。
1回・月のレセプト送信だけなら遅い回線でも可

回線と専用PCの接続

IP-VPN: 専用回線と接続

特定メーカーの地域閉域IP網に接続。インターネットには接続しない。ルータの前にハブを置いて専用pcと接続。

IPsec/IKE: インターネットと接続

インターネットに接続する。インターネット上でソフト的に疑似トンネルを作る。特殊なルータ、USBトークンなどを利用する。

回線

1) **IP-VPN**: 回線+プロバイダ契約

回線; 光 (Bフレッツ、フレッツ・光プレミアム)、ADSL、ISDN

メーカー: NTT東日本 / 西日本、ソフトバンクテレコム

2) **IPsec/IKE**: 回線+プロバイダ契約

+**IPsec/IKE**契約

メーカー; NTTデータ、NTT PCコミュニケーションズ、富士通、

三菱電機情報ネットワーク

IP-VPN

- **NTT等の地域閉域IP網を利用
インターネット回線を使用しない**
- **IP-VPNサービス:NTT**
回線料: Bフレッツ: 5000円/月。6万円/年
専用回線使用料は不要(通常のインターネット利用料金のみ)
+プロバイダ料
+認証費用4000円

IPsec + IKE

- **ソフト代(これが追加される)**

インターネット回線を利用。ソフトで疑似的にインターネット上にトンネルを作って接続。

+ インターネット回線料

+ プロバイダ料

+ 認証費用 4000円

- **特殊なルータやUSBトークンを利用。**

IP-VPN > IPsec+IKE

- **IP-VPNがIPsec+IKEより安価**
IP-VPNは回線使用料(インターネット利用料金)のみ
NTTへの申し込みや課金は不要
- **IPsec+IKEは、業者の疑似トンネル
システム分だけ割高**

レセプトオンライン接続ワンストップサービス

- **NEC + NTTデータ**

専用ルータを利用したIPsec+IKEサービス

ルータ: OD - VPNアダプタ、インターネット回線: BIGLOBE

初期費用 15,750円、

ルータレンタル費用 5年レンタル630円/月、

3年レンタル840円/月。

<http://www.megaoak.com>

IPsec+IKEサービス：富士通

- USBトークンを利用するサービス

初期費用：31,500円

維持費用：1,890円/月、22,680円/年

オルカ専用IPsec+IKEサービス:MSN社

- USBトークンを利用するORCAに特化したサービス

初期費用:7,980円(税込)

維持費用:21,420円/年(税込)

USBトークン

- USBメモリに、スマートカードとカードリーダーをコンパクトにまとめた製品。
通常、PKI標準のデジタル証明書 = トークンを利用する場合は、スマートカードが用いられる。
ORCA等に接続すればIPsec+IKE環境となる。



トラブル対策

1) 事故時

光ディスク(DVD-R又はCD-R)か紙ベースで提出。

2) 情報漏洩: High sensitive data

セキュリティは可能な限り厳しくする。

個人情報保護保険: 漏れたら非常に高額となる。

導入の実際

標準的スケジュール

8月1日スタート: 支払基金へ申込

9月10日 許可下りる

9月20日 接続試験と電子認証取得

10月7日 請求開始

- 1) ORCAよりデータ取りだしフロッピーへ
- 2) 専用PCと専用回線の接続
- 3) フロッピーをいれる
- 4) 転送する。ASPを利用する

電子情報処理組織の使用による費用の請求に関する届出

8月1日申込み

届出書と電子証明申請の2枚が必要 社保へ申し込む

厚生労働大臣の指定申請に関する届出

電子計算機を使用して厚生労働大臣の定める方式に従って電子情報処理組織の使用による費用の請求を開始したいので、厚生労働大臣による指定の申請を行います。
なお、社会保険診療報酬支払基金の試行的オンライン請求システム利用規約に同意します。

厚生労働大臣 宛
社会保険診療報酬支払基金 御中

平成20年 8月 1日
住所 青森県八戸市*****
開設者 氏名 日医 太郎 印

| | | | |
|------------------------------------|-----------------------|-----------------|---|
| 医療機関(薬局)コード | 0*****1 | 点数表区分 | 医科 調剤 |
| 保険医療機関(薬局)名 | 日医整形外科クリニック | 電話番号 | 0178-**-**** |
| 保険医療機関(薬局)所在地 | 青森県八戸市***** | 郵便番号 | 031-**-**** |
| レセコンのプログラム名称 | 日医標準レセプトソフト | 請求開始年月 | 平成20年10月請求分から |
| レセコンのソフトメーカー名 (プログラムの作成者の氏名) | 日医総研 | 通信用パソコンのOS・ブラウザ | OS:ウィンドウズ XPsp2 ブラウザ:インターネットエクスプローラ 6.0sp2 |
| オンライン請求システムに係る安全対策の取組(セキュリティ・ポリシー) | 無 | | |
| 電気通信回線 | IP-VPN接続 ダイヤルアップ接続 | ISDN番号: () | ※受付印 |
| 備考 | 電算機費を請求する | | |

試行的オンライン請求に係る電子証明書(発行・失効)依頼書
【医療機関・薬局】

平成19年 8月 1日
青森県社会保険診療報酬支払基金 御中
住所 青森県八戸市*****
開設者 氏名 日医 太郎 印

試行的オンライン請求に係る電子証明書の発行(失効)を依頼します。
なお、発行(更新)料は、診療(調剤)報酬支払額から控除することに同意します。

| | | | |
|------------------------|-----------------------------|-------------|---------|
| 点数表区分 | 医科 調剤 | 医療機関(薬局)コード | 0*****1 |
| 保険医療機関(薬局)名 | 日医整形外科クリニック | | |
| 保険医療機関(薬局)所在地 | 〒031-**-**** 青森県八戸市***** | | |
| 電話番号 | 0178-**-**** | | |
| 失効理由 (発行依頼の場合は記入不要) | | | |
| 備考 | | | |

※ 支払基金使用欄 ※ 受付印 ※ 確認印

9月10日手続き完了

手続き完了のお知らせと請求ユーザー設定情報、マニュアル一式が届く。

設定情報内容

- ・ネットワークIDとパスワード
- ・電子証明書取得に関するIDとパスワード
- ・オンライン請求のユーザIDとパスワード

設定 9月20日

付属のセットアップCD-ROMを専用PCに入れる。
オンライン請求システムのインストール。
電子証明書のインストール。
接続試験を行う。(接続試験は、毎月15～25日のみ)

専用PC

FD

ルータ

ハブ



請求

10月7日

請求可能期間
(毎月5 ~ 10日)

レセコンから
FDへ
(ORCA)



請求データの送信 (10月7日)



- ・Bフレッツ使用だと、実際の送信時間は数秒。
- ・保険者番号ミス等、事務的エラーは、ASPでチェック。
- ・ミス訂正(FD再作成)し、再度送信。

医療系ネットへ参加を

honda@orth.or.jp